

第5期米沢市水道事業中期経営計画 事業実施状況

○:実施した  
△:一部実施  
×:実施せず

基本施策		事業名・事業概要		新規継続	実施予定時期	令和4年度実施状況	令和4年度実施内容
安全	① 水質管理体制の強化	ア 水安全計画の策定	水安全計画に基づき、信頼性(安全性)の高い水道水を供給していきます。	継続	R4～	○	令和2年度に策定した水安全計画について適正に運用した。
		イ 水質検査計画の策定・公表	毎年度水質検査計画を策定し公表するとともに、水質検査結果も毎月公表します。	継続	R4～	○	水質検査計画を公表し、水質検査結果を毎月公表した。
	② 良質な水の追求	ア 鉛製給水管交換	宅地内の鉛製給水管を新しい給水管に交換します。	継続	R4～	○	計量法に基づく量水器の交換時に、108件の交換を行った。
		イ 貯水槽水道設置者への指導・助言	安全な水が給水されるよう、貯水槽水道の設置者に対し指導・助言を行います。	継続	R4～	○	簡易専用水道検査結果報告に基づき、指導助言を行った。
③ 非常用水源(地下水)の保全	ア 非常用水源の点検・整備	非常用水源として、地下水源の点検・整備を行います。	継続	R4～	○	非常用水源として、成島及び南原の地下水源の水質検査及び点検を行った。	
強靱	④ 管路の耐震化	ア 重要管路の耐震化	米沢市地域防災計画による災害拠点・病院・避難所等に供給する重要管路について、重要施設耐震化事業計画に基づき、配水管の耐震化を図ります。	継続	R4～	○	重要管路の耐震化を実施した。L=687m
		イ 基幹管路の耐震化	上記アに合わせて、基幹管路の耐震化を図ります。	新規	R4～	○	基幹管路の耐震化を実施した。L=1,320m
	⑤ 水道施設の計画的更新(耐震化)	ア アセットマネジメントに基づく計画的な水道施設の更新	アセットマネジメントを実施し、老朽施設(管路を含む。)の計画的な更新を図ります。	継続	R4～	○	アセットマネジメント(2021改定版)に基づき、計画的に老朽管の更新を実施した。
		イ 水道施設の耐震性評価・耐震化計画の策定	配水池など水道施設の耐震診断を行い、耐震化計画を策定し、耐震化を図ります。	継続	R4～	○	平成29年度に館山配水池及び小野川配水池の簡易耐震診断を実施済。
		ウ 館山配水池の更新	老朽化した館山配水池を更新します。(※⑦イ館山配水区受水施設整備に合わせて更新します。)	継続	R4～	○	令和3年度に実施設計を行い、令和4年度に館山配水区受水施設整備赤芝配水池及び赤芝送水ポンプ場築造工事を発注した。(工期:令和4年度～令和7年度)
	⑥ 応急体制の強化	ア 各種マニュアルの整備(見直し)	水質汚染事故、地震、渇水等に備え、対応マニュアルを随時見直します。	継続	R4～	○	令和3年に見直し済。
イ マニュアルに沿った訓練の実施		災害時に適切な応急復旧・給水を行うため各種マニュアルに沿った訓練を実施します。	継続	R4～	×	新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。	
持続	⑦ 施設規模の適正化	ア 配水計画の随時(適時)見直し	水需要等の予測を適切に行い、必要に応じて配水計画を随時(適時)見直します。	継続	R4～	○	新館山受水施設の実設計業務の発注を行い、新たな配水計画の見直しを行った。
		イ 館山配水区受水施設整備	県笹野浄水場から館山配水区への受水施設を整備します。	継続	R4～R8	○	令和3年度に実施設計を行い、令和4年度に館山配水区受水施設整備赤芝配水池及び赤芝送水ポンプ場築造工事を発注した。(工期:令和4年度～令和7年度)
	⑧ 事業経営の効率化	ア 民間委託の推進	水道施設運転管理業務や水道料金等収納業務の民間委託を継続するほか、民間委託の対象となる業務の拡大や見直しを行います。	継続	R4～	○	水道施設運転管理業務について、令和2年度から3年間の長期継続契約を締結している。また、水道料金等収納業務について、令和2年度から3年間の事業評価を行い、新たに令和5年度から3年間の長期継続契約を締結した。
		イ 簡易水道事業経営のあり方の検討	独立採算が難しい白布高湯簡易水道事業及び板谷簡易水道事業のあり方を検討します。	継続	R4～	△	引き続き検討中。
ウ 置賜圏域における広域化の調査・検討		置賜圏域における水道事業の広域化について調査・検討を行います。	継続	R4～	○	県が主催する置賜広域連携検討会において、将来の広域連携の在り方について検討した。	
⑨ 職員研修の充実	ア 各種研修への参加	水道事業における専門的知識や技術の習得のため各種研修会に参加します。	継続	R4～	○	日本水道協会や公的機関が主催する研修に参加し、知識や技術の習得に努めた。	

第5期米沢市水道事業中期経営計画 事業実施状況

○:実施した  
△:一部実施  
×:実施せず

基本施策		事業名・事業概要		新規継続	実施予定時期	令和4年度実施状況	令和4年度実施内容
⑩ 水道料金の適正化	ア 適正な水道料金の算定	令和6年度以降の水道料金について新たな料金算定期間を設定し、事業運営に見合った料金を算定します。	継続	R5	×	令和5年度に水道料金の見直しについて検討予定。	
	イ 料金体系の検討	現在採用している逡増型料金体系を検証し、今後の料金体系について検討します。	継続	R4～	○	長期(10年間)の財政収支見通しを作成し、収支の検証を行った。	
⑪ 料金収納率の向上	ア 債権管理の強化	収納率の向上を図るため、債権管理を適切に行います。	継続	R4～	○	適切な債権管理に努めた。収納率94.98%。	
⑫ お客さまサービスの充実	ア インターネットによる各種手続きの導入等利便性の向上	各種申込みや支払いなどの手続きについて、インターネットを用いた方法の導入拡大を検討し、利便性の向上に努めます。	継続	R4～	○	使用者異動、再開栓及び中止の手続きについては、平成29年12月からEメールによる受付を行っている。また、支払い手続きについては、令和3年4月からスマートフォン決済アプリによる支払いを開始した。	
	イ 広報・ホームページ等による情報提供	水道事業に係るさまざまな情報を広報よねざわやホームページ、SNS等を活用して積極的に情報の提供を行います。	継続	R4～	○	広報よねざわ、市公式LINEにより水道事業に係る情報を提供した。	
	ウ よねざわ上下水道だよりの発行	お客さまに水道事業をより理解していただくため、よねざわ上下水道だよりを発行します。	継続	R4～	○	4月、10月によねざわ上下水道だよりを発行した。	
	エ 上下水道事業経営懇談会の開催	お客さまの意見、要望を事業運営に反映するため、上下水道事業経営懇談会を開催します。	継続	R4～	○	第4回経営懇談会を開催し、事業運営等について委員より意見をいただいた。	
	オ インターネットへのPR映像掲載	「安心安全でおいしい水道水」をPRするため、PR映像を作成しインターネット上への掲載を行います。	新規	R4～	○	市内水道施設について、360°映像を撮影し、Googleストリートビューに掲載した。また、市公式ホームページに、米沢市水道施設紹介のページを作成し、上記の紹介を行った。	
	カ 水道施設見学会の実施	バーチャル施設見学など、新型コロナ禍における事業のあり方を検討・実施します。	継続	R4～	○	新型コロナ禍における広報活動として、インターネットを活用した事業を検討することとし、令和4年度は上記オの事業を実施した。	
	キ 市主催イベント出展による水道事業のPR	「オ インターネットへのPR映像掲載」事業として実施するなど、新型コロナ禍における事業のあり方を検討・実施します。	継続	R4～	○	同上	
⑬ 水資源の有効利用	ア 漏水調査の実施	毎年度計画的に配水管、給水管の漏水調査を実施します。	継続	R4～	○	延長(配水管)304kmの漏水調査を実施した。	
	イ 漏水修繕の実施	漏水を発見したら迅速に修繕を行います。	継続	R4～	○	139件の漏水修繕を実施した。	
⑭ 環境対策の推進	ア 浄水発生土の有効利用	浄水過程で生じる汚泥(浄水発生土)の有効利用を図ります。	継続	R4～	○	浄水発生土を埋戻し材として再利用を行った。	
	イ 建設発生土のリサイクル	水道工事における建設発生土のリサイクルに取り組みます。	継続	R4～	○	建設発生土は改良センターでリサイクルを行った。また、一部は民間の開発地等へ流用した。	
	ウ 省エネ行動の実践	事務用品の再生品使用、休憩時間の消灯、室内温度の適正化などに取り組みます。	継続	R4～	○	事務用品のグリーン購入やこまめな室内温度管理を行うとともに、クールビズに取り組んだ。	

## 第5期米沢市水道事業中期経営計画 目標（中期指標）の達成状況

（単位：人、m<sup>3</sup>、百万円）

項目	目標、経営指標	令和4年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値 (予算)	実績値	評価	目標値	目標値	目標値	目標値
需要予測	給水人口	77,378	76,303		76,705	76,037	75,376	74,720
	年間配水量	9,499,855	9,959,670		9,413,154	9,275,745	9,164,055	9,053,460
	1日平均配水量	26,027	27,287		25,719	25,413	25,107	24,804
収益的収支	営業収益	1,730	1,636	注1 -	1,722	1,714	1,705	1,697
	営業費用	1,606	1,621	×	1,607	1,572	1,580	1,859
	経常損益	228	270	○	221	250	237	△ 48
	特別損益	0	13	○	0	0	△ 180	△ 270
	当年度純利益	228	283	○	221	250	57	△ 318
資本的収支	収入計	56	63	○	37	44	57	19
	支出計	1,030	601	○	903	858	754	607
	不足する額	974	538	○	866	814	697	588
	内部留保資金残高	4,865	5,105	○	4,622	4,446	4,189	3,354
設備投資計画	館山配水区受水施設整備事業	326	注2 153	×	436	204	204	-
	重要施設耐震化事業	340	注3 159	×	167	149	290	355
	配水管布設・布設替事業	200	注4 75	×	100	100	100	100
	施設・機器・計器等整備事業	45	94	○	69	260	40	40
	営業設備	5	5	○	14	26	5	5
企業債残高	企業債残高	746	746	○	629	510	396	289
中期指標	有収率(%)	82.81	82.98	○	83.49	84.17	84.85	85.53
	総収支比率(%)	114.03	117.13	○	113.58	115.74	103.20	85.11
	営業収支比率(%)	108.10	100.93	注1 -	107.12	108.98	107.97	91.32
	職員給与費対料金収入比率(%)	12.90	10.96	注1 -	12.97	13.03	13.10	13.17
	収納率(%)	94.60	94.98	○	94.62	94.64	94.66	94.68

※評価は令和4年度米沢市公営企業会計決算審査意見書(米沢市監査委員)による。

注1 営業収益、営業収支比率、職員給与費対料金収入比率は、物価高騰に対する生活支援対策として、水道料金の基本料金及び10m<sup>3</sup>までの従量料金を2か月分免除したことにより給水収益が減少したため、評価対象としない。

注2 館山配水区受水施設整備事業について、工事の発注内容に変更があったことにより、工事費の減額と令和5年度への繰越があった。(当初:造成工事+基礎杭で発注予定→審査会の指摘により、造成工事のみで発注)

注3 重要施設耐震化事業は、入札不調により、工事場所の変更による減額や令和5年度への繰越があった。

注4 配水管布設・布設替事業は、米沢市立病院緊急貯水槽設置工事を米沢市立病院建設工事の工程に合わせる必要があり、さらに冬期間の駐車場を確保する必要があったことから令和5年度に繰越しとなった。

○有収率…総配水量に対する料金徴収の対象となった水量の割合。高いほうがよい。

○総収支比率…総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示す。100%以上が望ましい。

○営業収支比率…営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示す。高いほどよい。

○職員給与費対料金収入比率…料金収入に対する職員給与費の割合。低いほどよい。

○収納率…使用された水量に係る料金のうち、実際に収納された料金の割合。高いほどよい。